

Title	日本語文書の編集出力
Author(s)	中島, 聖勝; 西, 和彦
Citation	大阪大学大型計算機センターニュース. 1985, 56, p. 123-146
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/65641
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

日本語文書の編集出力

業務掛 中島 聖勝
西 和彦

1. はじめに

日本語文書の編集出力は、図1-1のように日本語エディタ等を用いて作成されたファイルを\$FPRINTコマンドの編集機能を利用してページプリンタに印刷出力を行う。

日本語文書の編集出力を行うために、従来からサービスを行っている\$FPRINTコマンドにRUNOFFサブシステム概念(様式制御語を用いて編集)を取り入れて、日本語文書が編集出力できるように編集機能を付け加えました。

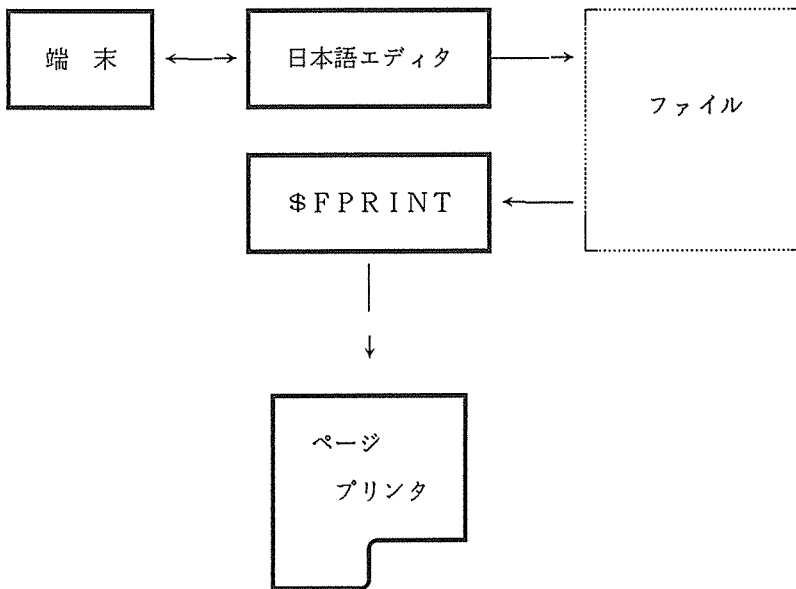


図 1-1

テキストの入力は、日本語エディタを用いて行い、テキスト入力時に、テキストの様式に合わせた様式制御語(テキストの様式化を行う制御語)をファイル内の必要な部分に挿入しておかなければならない。

例えば、次のようなテキストファイルを

```

.LL 44
.LM 4
.CA
  
```

日本語文書の編集出力

・RA 2

業務掛 中島 聖勝

西 和彦

1. はじめに

・FI

日本語文書の編集出力は、図1-1のように日本語エディタ等を用いて作成されたファイルを\$FPRINTコマンドの編集機能を利用してページプリンタに編集出力を行う。

・BR

日本語文書の編集出力を行うために、従来からサービスを行っている\$FPRINTコマンドにRUNOFFサブシステム概念(様式制御語を用いて編集)を取り入れて、日本語文書が編集出力できるように編集機能を付け加えました。

\$FPRINTコマンドの編集機能を利用して印刷出力すると、次のように印刷出力されます。

日本語文書の編集出力

業務掛 中島 聖勝

西 和彦

1. はじめに

日本語文書の編集出力は、図1-1のように日本語エディタ等を用いて作成されたファイルを\$FPRINTコマンドの編集機能を利用してページプリンタに編集出力を行う。

日本語文書の編集出力を行うために、従来からサービスを行っている\$FPRINTコマンドにRUNOFFサブシステム概念(様式制御語を用いて編集)を取り入れて、日本語文書が編集出力できるように編集機能を付け加えました。

編集を行う様式制御語には、主な機能として次のようなものを備えている。

① ページの様式に関する様式制御語

一頁に表示する行数、一行の文字数などの指定ができる。

② ページ制御に関する様式制御語

ページ番号の割り付け、改頁の指定ができる。

③ テキストの出力形式に関する様式制御語

テキスト出力時の行間隔やテキストの行末揃え、中央揃え等の指定ができる。

④ 特殊な制御に関する様式制御語

文字の大きさや上付、下付文字や縦書き等の指定ができる。

⑤ テキストの途中に使用できる（行内制御）様式制御語

文字の大きさや上付、下付文字等の指定ができる。

以下にコマンドの使用法及び編集出力するための様式制御語等について説明する。

2. コマンドの使用法

ページプリンタに編集出力を行う場合は、日本語エディタを用いて、予め様式制御語を挿入したファイルを作成後、次のコマンドを利用して出力を行う。

(コマンド形式)

- ① \$FPRINTJ ファイル名:EDIT
- ② \$FPRINTJ ファイル名:EDIT=
- ③ \$FPRINTJ ファイル名:EDIT=オプションファイル名
- ④ \$FPRINTHJ ファイル名:EDIT
- ⑤ \$FPRINTHJ ファイル名:EDIT=
- ⑥ \$FPRINTHJ ファイル名:EDIT=オプションファイル名

(パラメータ)

ファイル名 編集出力を行うファイル名。複数ファイルを出力する時は、“;”で区切ってファイル名を指定する。

(例)

```
$FPRINTJ FN1;FN2;FN3:EDIT
```

EDIT 編集出力を行うことを指示する。

(EDITの場合)

出力指示を行ったファイル内の様式制御語に従って編集出力を行う。

(EDIT=の場合)

“EDIT=”を指定した時は、端末に“TEXT INPUT”というメッセージが表示され、端末からテキストや様式制御語の入力を行うことができる。(テキスト入力の終了は、キャリッジリターンのみを入力する)

編集出力は、端末から入力したテキストや様式制御語を先に編集処理を行った後、指定されたファイル名のテキストを編集する。

(EDIT=オプションファイルの場合)

オプションファイルの指定をした時は、オプションファイルを先に編集処理を行った後、指定されたファイル名のテキストを編集する。

なお、オプションファイルは1行のテキストの長さが81バイト以上の場合、81バイト以降は無視して編集出力される。

(説明)

(1) コマンド形式の①③④⑥のコマンド入力後、及び②⑤で端末からのテキスト入力後、次のような一連の質問がなされる。

(a) FORMSET?に対する応答

ページプリンタに出力する時に、利用するFORMSET名を入力する。ここで選ぶFORMSET名によって出力される文字の大きさや1頁に出力できる行数が変わる。

なお、FORMSET名の応答に対して、システムに登録されていないFORMSET名を入力すると、FORMSET名のメニューが表示されるので、目的に合ったFORMSETメニューの番号を入力する。

(ア) FORMSET名

システムに登録されているFORMSETの中から目的に合ったFORMSET名を指定する。

(イ) キャリッジリターン

キャリッジリターンを入力すると、“NORMAL”を指定したのと同じ扱いになる。

(ウ) ?FORMSET名

“?FORMSET名”を入力すると、指定されたFORMSET名の1ページに出力できる行数、文字数、文字の大きさが表示される。

(エ) ?

“?” を入力すると、システムに登録されている FORMSET 名のメニューが表示される。

メニュー表示後、次の質問がなされる。

NUMBER INPUT ?

の問に対して、目的に合った FORMSET メニューの番号を入力する。

なお、特定の FORMSET 名の 1 ページに出力できる行数、文字数、文字の大きさを表示させたい時は、“? 番号” を入力する。

(例)

```
*$FPRINTJ EXAMPLE:EDIT
```

```
FORMSET ??
```

```
*** FORMSET NAME MENU ***
```

```
( 1) NORMAL      ( 2) NORMAL9    ( 3) NORMAL12   ( 4) NORMAL14
( 5) NORMAL18    ( 6) NORMAL24   ( 7) GOTHIC10   ( 8) GOTHIC12
( 9) GOTHIC15    (10) ACOSSP
```

```
NUMBER INPUT ? ?2
```

```
NORMAL9 ... PRINTER IMEIJI SHUTSURYOKU.
```

```
(EIJI)
```

```
(SUUJI)
```

```
62 GYO X 140 MOJI
```

```
(KANJI)
```

```
62 GYO X 112 MOJI (9P)
```

```
NUMBER INPUT ? 2
```

```
SEND BY MAIL(YES OR NO) ? NO
```

```
JOB CLASS (E,A,B,C) ? E
```

```
SNUMB # I450T
```

(b) NUMBER INPUT ? に対する応答

(ア) 番号

FORMSET メニューの中から目的に合ったメニュー番号を指定する。

(イ) ? 番号

“? 番号” を入力すると、指定された FORMSET 名の 1 ページに出力

できる行数、文字数、文字の大きさが表示される。

(c) SEND BY MAIL (YES OR NO) ? に対する応答

(ア) NO

編集処理された資料は、デマンドファイルへ出力することを指示する。なお、ページプリンタへの出力要求は、IDカードを用いて行う。

(イ) YES

ページプリンタに編集出力された資料を連絡所に送付することを指示する。

(d) JOB CLASS (E, A, B, C) ? に対する応答

編集出力するテキストの行数に応じたジョブクラスを選んで、そのジョブクラスを指示する。

(2) コマンド形式の②③⑤⑥を利用して複数ファイル出力を指定した時は、各ファイルを編集出力する前に、オプションファイルまたは端末から入力したテキストが先に編集処理される。

(3) コマンド形式の④⑤⑥を利用してファイル出力を指定した時は、ラインプリンタ用紙の1ページを中央より左右に分けて2ページ相当分のテキストを編集出力（以下袋とじ という）する。

なお、出力時に選ぶFORMSET名によって、1行に出力できる文字数が異なるので注意する必要がある。

\$FPRINTコマンドの問答形式一覧

コマンド	パラメータの形式	パラメータの意味	機能
\$FPRINTJ (\$FPRIJ)	ファイル名 [;ファイル名] ... :EDIT	ファイル名：出力するファイル名 EDIT：編集出力を指示する。 「EDIT」の指定がない時は、ファイルの内容がそのまま出力される	パーマネントファイルの内容をページプリンタに編集出力する。
	問答形式 FORMSET?	復帰	「NORMAL」の書式がセットされる
		書式名：センターに登録されている書式名	書式に従ってファイルの内容がページプリンタに出力される。
		?	システムに登録されている書式名の一覧が端末に表示される。
		?書式名	指定された書式で出力できる一行の文字数及び扱える活字の大きさの説明が端末に表示される。
	SEND BY MAIL (YES OR NO)?	YES	センターのページプリンタにファイルの内容が出力され、出力結果は連絡所へ送られる。
NO		ファイルの内容はデマンドファイルへ出力される。IDカードを用いてページプリンタへの出力要求を行う。	
JOB CLASS (E, A, B, C) ?	E A B C	ファイル内容の出力量に応じたジョブクラスを指定する。	
\$FPRINTHJ (\$FPRIHJ)	\$FPRINTJと同一	\$FPRINTJと同一	パーマネントファイルの内容をページプリンタに編集出力する。 なお、出力形式はページプリンタ用紙の1ページを中央より左右に分けて2ページ相当分のテキストを編集出力する。

3. 様式制御語

様式制御語は、ファイル内のテキストをページプリンタに印刷出力する時に様式を整える制御語である。

様式制御語には、テキストの先頭から指定するもの（以下 行制御という）と文書の途中に使用できるもの（以下 行内制御という）がある。

以下に様式制御語の規則及び様式制御語の機能について説明する。

3. 1 様式制御語の規則

- (1) 様式制御語は、1バイト文字（1文字が1バイトで表現されている文字。なお、日本語データは、1文字が2バイトで表現されている）でなければならない。
- (2) 様式制御語には、行制御と行内制御のできるものがあり、行制御の様式制御語を使用する場合は、様式制御語以外に余分な文字を指定することはできない。
- (3) おおのこの様式制御語は、. CONTROLCHAR様式制御語で指定された文字（指定がないときは既定値（ピリオド“.”））によって先行される。
- (4) 行内制御の様式制御語にパラメータがある場合は、様式制御語の右側に空白を置かず左側区切り文字がなければならない。そして、パラメータの最後には、右側区切り文字がなければならない。
- (5) 区切り文字には、. DELIMITERCHAR様式制御語のx（左側区切り文字）とy（右側区切り文字）で定義された文字を使用しなければならない
未定義であったときは、それぞれ既定値（左側区切り文字は左括弧“（”，右側区切り文字は右括弧“）”）の文字を使用して指定する。
- (6) 正しく指定された様式制御語は、ページプリンタに編集出力された文書内には現われない。
- (7) ファイル全体に対して効力を与える様式制御語については、ファイルの最初に一度組み込んでおけばよい。

そのような様式制御語は、組み込まれた他の様式制御語によって無効にされない限り、その効力を発するもので、それを繰り返して用いる必要はない。

例えば

```
. PAPERLENGTH 60
. LINELENGTH 50
. TOPMARGIN 5
. BOTTOMMARGIN 5
. FILL
```

等が、それに相当する。

ここで、上記の様式制御語に従うとテキストは、次のように様式化され印刷出力される。

- 用紙の上端からページの頭までと、ページの終わりから用紙の下端までに、おのおの5行の余白行を含み、1ページ当り60-5-5=50行。
 - 1行当り50桁。
 - 行末揃えを行って、1行当り50桁になるよう整えられる。
- (8) ページ番号の割り付けは、.PAGE NO様式制御語を指定し、コマンド形式④⑤⑥(\$FPRINT H J)で編集出力の指示を行わなければならない。
- (9) 様式制御語は、省略形(\$FPRINT コマンドの様式制御語一覧を参照)を用いて指定することができる。

3. 2 様式制御語の機能

3. 2. 1 ページの様式に関する様式制御語

(1) . PAGELENGTH n

使用する用紙の縦幅を定義するもので「n」には、その行数を指定する。この指定がないときは、「\$FPRINT」コマンドで編集出力の指示を行う時に指定するそれぞれの書式名の既定値がとられる。

書 式 名	行数 (既定値)
NORMAL	62
NORMAL9	62
NORMAL12	41
NORMAL14	41
NORMAL18	41
NORMAL24	31

表 3-1

なお、それぞれの書式名の行数は、1ページに印字することのできる最大値を既定値としている。

(2) . LINELENGTH n

使用する用紙の横幅を定義するもので「n」には、その行の長さを文字数で指定する。これは、文書の行末揃え(. FILL)、中央揃え(. CENTERADJUST)、右寄せ(. RIGHTADJUST)のために利用されるものである。

この指定がないときは、「\$FPRINT」コマンドで編集出力の指示を行う時に指定するそれぞれの書式名の既定値がとられる。

書 式 名	2バイト文字数	1バイト文字数
NORMAL	140 (7ポイント)	140
NORMAL9	112 (9ポイント)	140
NORMAL12	84 (12ポイント)	140
NORMAL14	70 (14ポイント)	140
NORMAL18	56 (18ポイント)	140
NORMAL24	42 (24ポイント)	140

表 3-2

なお、コマンド形式④⑤⑥(\$FPRINTHJ)で編集出力の指示を行った場合、1行に印字することのできる文字数の既定値は、上記表の半分になる。

(3) . TOPMARGIN n

使用する用紙の先端から、印刷出力される最初の行までの余白の間隔を定義するもので「n」には、その行数を指定する。

この指定がないとき、既定値(0行)がとられる。

(4) . BOTTOMMARGIN n

印刷出力されるテキストの最後の行から、使用する用紙の末端までの、余白の間隔を定義するもので、「n」には、その行数を指定する。

この指定がないとき、既定値(0行)がとられる。

(5) . LEFTMARGIN n

印刷出力されるテキストの最左端の桁から、使用する用紙の左端までの、余白の間隔を定義するもので「n」には、その桁数を指定する。

この指定がないとき、既定値(0桁)がとられる。

(6) . RIGHTMARGIN n

印刷出力されるテキストの最右端の桁から、使用する用紙の右端までの、余白の間隔を定義するもので「n」には、その桁数を指定する。

この指定がないとき、既定値（0桁）がとられる。

(7) . MARGIN t, b, l, r

1ページの4端にさらに確保する余白部分を指定するものであり、t（上端）とb（下端）で指定する値は、余白行数、l（左端）とr（右端）で指定する値は、余白桁数である。

この指定がないとき、既定値（上端=0行、下端=0行、左端=0桁、右端=0桁）がとられる。

上記7つの様式制御語によって、用紙上に割り付けるページの大きさが決まる。

3. 2. 2 ページ制御に関する様式制御語

(1) . PAGENO ON

ページ番号の割り付け開始を指定するものである。ページ番号の印刷出力する位置は、「ページの様式に関する様式制御語」で割り付けられたページの最下行に印刷出力される。この様式制御語の機能を終了させるには、「. PAGENO OFF」を指定する。

なお、この様式制御語の指定がないときは、既定値「. PAGENO OFF」がとられる。

(注)

ページ番号の割り付けは、. PAGENO様式制御語を指定し、コマンド形式④⑤⑥（\$FPRINTHJ）で編集出力の指示を行わなければならない。

コマンド形式①②③（\$FPRINTJ）で編集出力の指示を行ったときは、ページ番号の割り付けは無視される。

(2) . BEGINPAGE

改ページを指定するもので、この様式制御語以降に続くテキストを、新しいページに割り当てる。

3. 2. 3 テキストの出力形式に関する様式制御語

(1) . SINGLESPACE

テキストを1行ごと（1行おきではない）に印刷出力させるようにするものである。

行間の空きはなくなる。(既定値)

(2) . DOUBLES P A C E

テキストの印刷出力を1行おきにするように指定するものである。行間の空きは1行になる。

(3) . MULTIS P A C E n

テキストの印刷出力をn行おき(印刷出力される行と行の間にn行の空白を入れる)にするように指定するものである。

nを省略すると、既定値(0行)がとられる。

(4) . BREAK

テキスト行の印刷出力に際し、改行を指定するもので、前の行を終わりにして、この様式制御語の次のテキストを、新しい行から始めるようにさせるものである。

このとき、. F I L L様式制御語の指定があっても、この. BREAK様式制御語の前後の行は結びつけられない。

(5) . F I L L

様式制御語以降のテキスト行の印刷出力に際し、次の行から文字を移して短かい行を延ばしたり、次の行へ文字を移して長い行を短かくするといったことを行って、行末揃えをさせるものである。

この. F I L L様式制御語は、. N O F I L L様式制御語が指定されるまで有効である。

(6) . N O F I L L

. F I L L様式制御語の機能を終わらせるもので、この指定によつて、テキストは投入されたときの状態のまま印刷出力されることになる。

(7) . SPACELINE n

次のテキスト行を印刷出力する前に、この. SPACELINE様式制御語が与えられた場所で、n行の空白行を挿入するようにするものである。

(8) . LEFTADJUST n

次のn行のテキストを、図4-1のt yの左端に位置づけて印刷出力させるものである。

nを省略すると、既定値(1行)がとられる。

(9) . CENTERADJUST n

次のn行のテキストを、図4-1のt yの中央に位置づけて印刷出力させるものである。

nを省略すると、既定値(1行)がとられる。

(10) . RIGHTADJUST n

次のn行のテキストを、図4-1のt yの右端に位置づけて印刷出力させるものである。

nを省略すると、既定値（1行）がとられる。

(例) 入力テキストの内容

```
.CENTERADJUST
中央揃え
.RIGHTADJUST
右端揃え
.LEFTADJUST
左端揃え
```

これを印刷出力すると、次のようになる。

```

                中央揃え
                                右端揃え
左端揃え
```

3. 2. 4 特殊な制御に関する様式制御語

(1) . CONTROLCHAR x

様式制御語の識別文字（様式制御語の先頭の文字）を指定するものである。これ以降は、1桁目に文字xのある語を様式制御語として処理する。

この指定がない場合は、xとして既定値（ピリオド“.”）がとられる。

(2) . DELIMITERCHAR x, y

左側および右側区切り文字を指定するものである。これ以後、左側および右側区切り

文字は、それぞれ左側区切り文字xと右側区切り文字yになる。

この指定がない場合は、それぞれ既定値（左側区切り文字は左括弧“(”、右側区切り文字は右括弧”)”）がとられる。

(3) . CHAR SIZE n

ページプリンタへ印刷出力するときの文字の大きさを指定するものである。この指定により、以降のテキストはnポイントで印刷出力される。

nはページプリンタの文字のポイント数であり、7、9、12、14、18、24のいずれかでなければならない。

この指定がない場合は、編集出力時の書式名の既定値がとられる。

書 式 名	ポイント数 (既定値)
NORMAL	7
NORMAL 9	9
NORMAL 12	12
NORMAL 14	14
NORMAL 18	18
NORMAL 24	24

表 3-3

(4) . FULL SQUARE

ページプリンタへ印刷出力するとき、以降のテキストの文字（1バイト文字）を全角文字で印刷出力することを指定するものである。

(5) . HALF SQUARE

ページプリンタへ印刷出力するとき、以降のテキストの文字（1バイト文字）を半角文字で印刷出力することを指定するものである。

(6) . UPPER SUFFIX

ページプリンタへ印刷出力するとき、以降のテキストの文字（1バイト文字）を上付サフィックス文字で印刷出力することを指定するものである。

(7) . LOWER SUFFIX

ページプリンタへ印刷出力するとき、以降のテキストの文字（1バイト文字）を下付サフィックス文字で印刷出力することを指定するものである。

(8) . NOSUFFIX

. FULLSQUARE, . HALFSQUARE, . UPPERSUFFIX, LOWERPREFIX 様式制御語の機能を終わせるもので、この指定によって、1バイト文字は、そのまま印刷出力される。

(9) . NOVERTICAL

. VERTICAL 様式制御語の機能を終わせるもので、この指定によって、テキストの文字は、横書きで印刷出力される。

(10) . VERTICAL

ページプリンタへ印刷出力するとき、以降のテキストの文字を縦書きで印刷出力することを指定するものである。

3. 2. 5 テキストの途中に使用できる（行内制御）様式制御語

(1) . CS (n)

ページプリンタへ印刷出力するときの文字の大きさを指定するものである。この指定により、以降のテキストは n ポイントで印刷出力される。

n はページプリンタの文字のポイント数であり、7, 9, 12, 14, 18, 24 のいずれかでなければならない。

この指定がない場合は、編集出力時の書式名の既定値（表 3-3）がとられる。

(2) . FS (x.....x)

区切り文字で囲まれたテキストの文字（1バイト文字）を全角文字で印刷出力することを指定するものである。

(x.....x) は、区切り文字で囲まれた中に、さらに区切り文字を使用してはならない。

(3) . HS (x.....x)

区切り文字で囲まれた文字（1バイト文字）を半角文字で印刷出力することを指定するものである。

(x.....x) は、区切り文字で囲まれた中に、さらに区切り文字を使用してはならない。

(4) . US (x.....x)

区切り文字で囲まれた文字（1バイト文字）を上付サフィックス文字で印刷出力することを指定するものである。

(x.....x) は、区切り文字で囲まれた中に、さらに区切り文字を使用してはならない。

(5) . LS (x.....x)

区切り文字で囲まれた文字（1バイト文字）を下付サフィックス文字で印刷出力することを指定するものである。

(x.....x)は、区切り文字で囲まれた中に、さらに区切り文字を使用してはならない。

\$FPRINTコマンドの様式制御語一覧

様式制御語	省略形	行制御	行内制御	説明
. BEGINPAGE	. BP	○	×	これ以降にあるテキストを次の新しいページに印刷出力する
. BOTTOMMARGIN n	. BM	○	×	用紙の末端（下端）から印刷出力される最後の行までの余白の大きさを定義する。
. BREAK	. BR	○	×	前の行に次の行を続けるということをしなくて、新しい行として始める（改行の指定）。
. CENTERADJUST n	. CA	○	×	次のn行を行の中央に印刷出力する。
. CHARSIZE n	. CS	○	○	これ以降にある2バイト文字をnポイントの大きさと印刷出力する。 n=7, 9, 12, 14, 18, 24
. CONTROLCHAR x	. CC	○	×	指定されたxを様式制御語文字とする。
. DELIMITERCHAR x, y	. DC	○	×	xとyで指定された文字を、それぞれ左側区切り文字、右側区切り文字とする。
. DOUBLESPACE	. DS	○	×	様式化されたテキストを1行おきに印刷出力する。
. FILL	. FI	○	×	一定長の行を作る。すなわち短い行に対しては、次の行から文字を移し、長い行に対しては次の行に文字を移す。
. FULLSQUARE	. FS	○	○	これ以降にあるテキスト（1バイト文字）を全角文字で印刷出力する。

様式制御語	省略形	行制御	行内制御	説明
. HALFSQUARE	. HS	○	○	これ以降にあるテキスト（1バイト文字）を半角文字で印刷出力する。
. LEFTADJUST n	. LA	○	×	次のn行を行の左端に寄せて印刷出力する。
. LEFTMARGIN n	. LM	○	×	用紙の左端から印刷出力される最左端の桁までの余白の大きさを定義する。
. LINELENGTH n	. LL	○	×	1行の長さを文字数（桁数）で指定する。
. LOWERSUFFIX	. LS	○	○	これ以降にあるテキスト（1バイト文字）を下付文字で印刷出力する。
. MARGIN t, b, l, r	. MA	○	×	1ページの4つの端の余白を指定する。t（上端）、b（下端）に対しては行数を、l（左端）、r（右端）に対しては桁数を指定する。
. MULTISPACE n	. MS	○	×	様式化されたテキストをn行おきに印刷出力する。
. NOFILL	. NF	○	×	テキスト作成時の状態のままですべての行を印刷出力する。
. NOSUFFIX	. NS	○	×	. FS, . HS, . US, . LS の指定を解除する。
. NOVERTICAL	. NV	○	×	. VT の指定を解除する。
. PAGENO ON OFF	. PN	○	×	. PN ON は、ページ番号を印刷出力する。 . PN OFF は、ページ番号の印刷出力を停止する。 (この機能は \$FPRINTHJ の時のみ有効)
. PAGELENGTH n	. PL	○	×	1ページの印刷出力する行数を指定する。 (1 < n < 64)
. RIGHTADJUST n	. RA	○	×	次のn行を行の右端に寄せて印刷出力する。
. RIGHTMARGIN n	. RM	○	×	用紙の右端から印刷出力される最右端の桁までの余白の大きさを定義する。

様式制御語	省略形	行制御	行内制御	説明
.SINGLESPACE	.SS	○	×	様式化されたテキストを行ごとに印刷出力する。
.SPACELINE n	.SL	○	×	次の行を印刷出力する前に n 行分の空白行を挿入する。 (1 < n < 64)
.TOPMARGIN n	.TM	○	×	用紙の先端(上端)から印刷出力される最初の行までの余白の大きさを定義する。
.UPPERSUFFIX	.US	○	○	これ以降にあるテキスト(1バイト文字)を上付文字で印刷出力する。
.VERTICAL	.VT	○	×	これ以降にあるテキストを縦書きで印刷出力する。

4. ページの様式

編集出力するページの様式は、様式制御語及び編集出力時に指示する書式名によって指定することができる。

ここでは、様式制御語の指定値及び編集出力時に指定する書式名がページの様式にどのように影響するかを説明する。

(1) 書式名と様式制御語

1 ページに印刷出力できる行数、1 行に印字する文字数は、書式名によりそれぞれの最大値が決定される。

特に、様式制御語(.CHARASIZE, .LINELENGTH, .PAGELENGTH等)で変更しなければ、表4-1のそれぞれの書式名の範囲内で印刷出力される。

日本語データ(2バイト文字)については、それぞれの書式名の既定値の大きさの文字で印刷出力される。

書式名	行数	1行に印字できる文字数		2バイト文字の大きさ (既定値)
		1バイト文字	2バイト文字	
NORMAL	62	140	140	7
NORMAL9	62	140	112	9
NORMAL12	41	140	84	12
NORMAL14	41	140	70	14
NORMAL18	41	140	56	18
NORMAL24	31	140	42	24

表 4-1

(2) 様式制御語と本文の様式

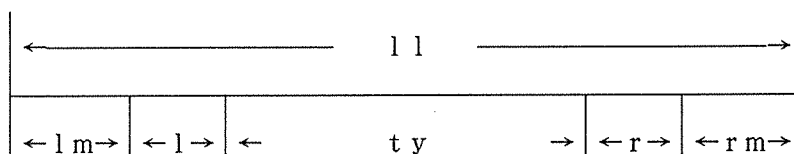


図 4-1

- ll : .LINELENGTHの文字数
- lm : .LEFTMARGINの桁数
- l : .MARGIN t, b, l, rのl桁数
- r : .MARGIN t, b, l, rのr桁数
- rm : .RIGHTMARGINの桁数
- ty : テキストが様式化される領域の桁数

様式制御語(.FILL,.CENTERADJUST,.RIGHTADJUST,.LEFTADJUST)を指定すると文書は、tyの範囲内で様式が整えられる。

なお、図4-1のそれぞれの様式制御語で指定した文字数(ll)や桁数(lm, l, r, rm)は、編集出力時に指定する書式名の既定値の文字サイズを基準にして様式が整えられる。

(3) 文字の大きさ (ボディフェイス)

ページプリンタは、1行で最大3360ドット (袋とじの場合は1680ドット) で文字を印刷することができる。

文字サイズ (ポイント)	ボディフェイス (ドット)		文字サイズ (ポイント)	ボディフェイス (ドット)	
	ヨコ	タテ		ヨコ	タテ
7	24	24	14	48	48
9	30	30	18	60	60
12	40	40	24	80	80

表 4-2

2バイト全角文字の大きさは、表4-2のとおりである。なお、1バイト文字は7ポイントの全角文字と同じ大きさである。

5. 使用例

(1) 異なる大きさの文字を印刷出力する使用例

入力テキストの内容

```
「                                     」
  .CS 7
  7 ポイント
  .CS 9
  9 ポイント
  .CS 12
  12 ポイント
  .CS(7)7.CS(9)9.CS(12)12.CS(14)14.CS(18)18.CS(24)24
  「                                     」
```

これを印刷出力すると、次のようになる。

```

┌
7 ポイント
9 ポイント
12 ポイント

7912141824
└

```

(2) 上付、下付文字を印刷出力する使用例

入力テキストの内容

```

┌
X=Y.US(2)+Z.US(2)
X=(a.LS(1).US(2)+b.LS(2).US(3)).US(5)
└

```

これを印刷出力すると、次のようになる。

```

┌
X=Y2+Z2
X=(a12+b23)5
└

```

(3) 縦書き文字を印刷出力する使用例

入力テキストの内容

```
「  
      .VT  
      天 智 天 皇  
  
      秋の田の  
      かりほの庵の  
      苫をあらみ  
      我ころも手は  
      露にぬれつつ  
」
```

これを印刷出力すると、次のようになる。

```
「  
      天 智 天 皇  
  
      秋の田の  
      かりほの庵の  
      苫をあらみ  
      我ころも手は  
      露にぬれつつ  
」
```

(4) ソースプログラムリストを袋とじにして印刷出力するコマンドの使用例

```
*$FPRIHJ SAMPLE:EDIT= ..... ①  
      TEXT INPUT  
=.HS ..... ②  
=.LM 5 ..... ③  
= ..... ④  
      FORMSET ? ..... ⑤
```

SEND BY MAIL(YES OR NO) ? NO

JOB CLASS (E,A,B,C) ? E

SNUMB # Z164T

- ① 「SAMPLE」というファイルを袋とじで出力をする。なお、元のファイルに様式制御語を挿入せずに、編集出力するために「EDIT=」の指定を行う。
 - ② 1バイト文字を半角文字で印刷出力する。
 - ③ とじしろをとるために、2バイト文字で5字分右へ寄せる。
 - ④ キャリッジリターン（復帰キー）を入力する。なお、他に様式制御語やテキストを出力したい時は、続けて入力する。
 - ⑤ 書式名「NORMAL」で印刷出力するためにキャリッジリターンを入力する。
- なお、②③の内容をファイル（例えば FORM）入力しておいて次のようにコマンドを使用しても同じように印刷出力される。

*LIST FORM

.HS

.LM 5

*\$FPRIHJ SAMPLE:EDIT=FORM

FORMSET ?

SEND BY MAIL(YES OR NO) ? NO

JOB CLASS (E,A,B,C) ? E

SNUMB # Z165T

以上のように、元のファイルに様式制御語を挿入しないで、編集出力する時は使用例（4）のようになる。

6. おわりに

\$FPRINTコマンドの編集機能は、RUNOFFサブシステムの様式制御語とできるだけ互換性を持たせ、日本語処理に必要な機能を付け加えている。

当センターでは、\$HANDBOOKコマンドで各種の手引きやこの原稿は、\$FPRINTコマンドの編集機能を利用して印刷出力している。

なお、\$FPRINTコマンドの編集機能は、まだ改良の余地を残していますが、多くの利用者に御利用いただき、論文等の文書処理の一助になれば幸いです。

〔参考文献〕

- 1) NECマニュアル:ACOS-6 リモート処理管理 TSS-AFランオフ説明書
- 2) NECマニュアル:ACOS-6 日本語情報処理 日本語情報処理システム概説書
- 3) NECマニュアル:ACOS-6 日本語情報処理 日本語情報処理システム運用説明書
- 4) NECマニュアル:ACOS-6 日本語情報処理 サービスプログラム説明書